

平成 29 年 4月11 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ コオナンダイチクチョウジュウヒ
ガイタイサクキョウギカイ

団体名 光南台地区鳥獣被害対策協議会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名 会長 西谷 萬二

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) Ⓐ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	光南台地区耕作放棄地の復元等による地域活性化プロジェクト
事業実施区域 (小学校区)	光南台中学校区



※実施事業の概要をご記入ください。また事業実績を示す写真（2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。

当初計画に基づいて次のとおり実施した。

- ① 耕作放棄地の農地復元・植樹状況
 - (ア) 宮浦青谷水系 約1,000㎡（330坪）、梅4本、オリーブ4本植樹。
 - (イ) 米崎大谷付近 約600㎡（200坪）、レモン5本植樹。
- ② 山中奥地へ、イノシシのエサとなるクリ・ドングリを植えて、里へイノシシを近づけない様にした。1/14（土）9～12実施（宮浦）
- ③ 利便性の高い耕作放棄地を農園へ復元し、果樹園とファーム事業を行った。（約300坪）
収益は、鳥獣被害対策の一部とした。
- ④ イノシシの捕獲檻での駆除も積極的に進め、平成28年度は約150頭駆除した。同時に、ワイヤーメッシュ・電柵による防護にも努めた。
その結果、イノシシによる被害は激減した。
- ⑤ イノシシによる被害の対策として、使用後のノリ網を地面に斜めに這わせた防御を試験的に実施したところ、非常に簡単で効果的であった。
- ⑥ 「野菜作りを基礎から学ぶ」講座全6回開講した（3月～7月まで）
毎回沢山（約40人）の受講者があった。
講師は岡山大学農学部名誉教授 榊田 正治 氏にお願いした。
参加者の半数は、学区外の方で、光南台の魅力をPR出来た。

事業
実
施
内
容

事業目的とその達成状況と効果

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況

① 耕作放棄地の農地復元・植樹状況

平成 28 年度は耕作放棄地農地復元の要望のあった宮浦青谷水系、米崎大谷付近を実施した。この事業は今年度で 2 年目であるが、着実に成果が出ている。

② イノシシとの共生事業の一環として、山中奥にイノシシのエサとなるクリ・ドングリを植えて、里へイノシシを近づけない様になっている。イノシシの出没状況を調査して、当事業を継続するか見極めたい。

③ 利便性の高い耕作放棄地の農園復元・ファーム事業

農地復元後、一般市民に畑、果樹園としてファーム事業を行っている。現在、事業面積は約 300 坪であるが、順次農地復元しファーム事業を拡大していきたい。収益金は、鳥獣被害対策（区づくり推進事業）の一部とした。

④ イノシシの捕獲・防御について

地域住民が共同して、檻での捕獲を積極的に行い、今年度も約 150 頭駆除した。同時に、ワイヤーメッシュ・電柵による防護にも努めた。その成果として、野菜・果樹被害が大幅に激減した。

⑤ イノシシ対策として、ノリ網の利用等試験的な取り組み

今年度、試験的に実施したノリ網による防御は設置が簡単で成果が出ているので継続して試験を行いたい。また、耕作放棄地の利用として、パパイヤの栽培等も実施したが、住民の健康面にも役だっているので継続して実施したい。

⑥ 野菜作りセミナーの開講

地元住民を対象にした「野菜作りを基礎から学ぶ」講座を全 6 回開講した。最初は参加人数を心配したが、定員（30 名）を大幅に上回る参加があった。その成果として、野菜作りに興味を持つ人が急増して、耕作放棄に歯止めをかけることが出来た。またファーム事業に申し込む人が増えた。

以上のとおり実施、ほぼ達成出来た。

イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こしにより明らかになった課題等

エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況

など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

企 画 な ど の 工 夫 と 情 報 公 開	<p>作成された計画等</p> <p>① 地域をあげて取り組んでいる鳥獣対策は、野菜等の被害減に少しずつ成果を出しているが、この取り組みは地域住民の安全・安心して暮らせる地域づくりにも役立っている。</p> <p>② 現在植樹している梅、オリーブは近い将来収穫が見込まれ、地域商店に出荷等が見込まれる。</p> <p>③ また、耕作放棄地対策の一環として、取り組んでいる「パパイヤ」の栽培は地域の皆さんが栽培されつつある。この取り組みは地域住民の健康対策にも効果が出ており、今後においても普及を続ける予定である。</p> <p>目標の達成状況</p> <p>① 少しずつではあるが、地域住民の間でやる気、達成感が出てきている。</p> <p>② この事業は今年度で2年目であるが、耕作放棄地の農地復元面積の増、梅、オリーブの植樹本数の増になっている。</p> <p>③ 今年度はイノシシ被害の防御の試験的な取り組みで成果が出た。</p> <p>④ 利便性の高い農地復元後のファーム事業も軌道にのり、徐々に拡大できている。</p> <p>⑤ イノシシによる被害、出没件数が少しずつではあるが減少している。</p> <p>⑥ 今後の課題としては、夏場の高温への対策（果樹園）、果樹の苗木を6ヵ月程度育苗する事で、暑さに耐える苗木にする等である。</p> <p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>① 協議会の取り組みを、愛育委員会、ケア会議等に出向いて細かく説明して理解を求めている。</p> <p>② 公民館だよりによりイノシシに関する情報等を載せて情報提供している。</p> <p>③ パパイヤ収穫祭、栽培・料理教室等開いて、耕作の推進、健康増進を図っている。</p> <p>④ イノシシの効果的な防御方法をオニビジョンに取材依頼して、開く市民に公開している。</p> <p>⑤ イノシシの生態、注意すること等を載せた冊子の更新を行い、地域住民に配布している。</p> <p>⑥ 協議会の活動について、山陽新聞社への取材依頼、市政だよりへの掲載を行い広く市民に情報提供している。</p> <p>⑦ 地域の団体での広報活動強化（町内会お知らせ等での広報）を行っている。</p> <p>⑧ 各地域に出向いてパワーポイント等で出前講座を開いている。</p> <p>⑨ 地域の皆さんに協議会の取り組みに対して段々と理解頂き、積極的な参加および協力して頂けるようになってきている。</p>
	次 年 度 計 画

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。

- ① イノシシの捕獲、柵、防獣、耕作放棄地の農地復元等の取り組みは、イノシシの被害減、出沒減に繋がっており、地域住民が安心して安全に暮らせる町づくりに寄与していると思われる。
- ② 地域住民による耕作放棄地の農地復元および梅、オリーブの植樹は住民間の交流、繋がり事業達成感が得られたと思われる。
- ③ 梅、オリーブの植樹は地域住民にとって、眼に見えて活動が分かるので、理解度が早く、協力体制の充実に繋がるのが期待される。
- ④ 平成 28 年度の当事業活動は計画以上の成果を得た。また、昨年度、農地へ復元した耕作放棄地及び果樹園の管理も計画どおり実施できた。
- ⑤ 地域のみなどと協力し合った結果、果樹園等如何に効率的に維持管理するかのノウハウも分かった。

事業実施者としての評価・感想など

事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
岡山大学 大学院 准教授(農学博士) 九鬼 康彰氏 玉木裕介氏	九鬼先生と現場を同行、総合的な、アドバイスを受ける。 玉木氏は、農村環境学の修士論文を執筆。(光南台の取り組み)
放送大学岡山学習センター 榊田 正治客員教授	野菜作りを基本から学ぶ(協議会ファーム事業広報)講座開催
岡山地区猟友会 南分会 安藤会長	箱罾の設置、餌付け法の指導を受ける。
岡山地区猟友会 南分会 の各メンバー	捕獲から駆除までの連携
岡山市南区役所 農林水産振興課	各種イベントに総合的なアドバイス 鳥獣被害防止柵申請 鳥獣捕獲檻申請

収支決算書

◆収入

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	100,000	100,000	
負担金	100,000	155,435	
参加費			
計	200,000	255,435	

◆支出

単位:円

項目	予算額		決算額		内容(必ず記載してください)
	総事業費額	補助対象額	総事業費額	補助対象額	
消耗品費			33,614	33,614	草刈り機替刃 11枚／噴霧器 1ヶ／防鳥ネット 50m／ノリ網 100m
燃料費			6,918	6,918	草刈り用ガソリン 47L、オイル 1L
印刷製本費					
通信運搬費	6,000	6,000	3,000	3,000	柵の運搬
保険料					
使用料					
原材料費	92,000	92,000	99,553	99,553	果樹の苗木 20本／苗木防護柵 60枚／農薬／化成肥料 60kg
委託料	102,000	102,000	112,350	112,350	耕作放棄地草刈り作業 3,000㎡／耕作放棄地除草作業 (3,000㎡)
報償費					
旅費交通費					
計	200,000	200,000	255,435	255,435	



■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
H28. 3. 12	宮浦地区耕作放棄地草刈りスケジュール会議 5
H28. 4. 3	キドコ地区草刈り及び野焼 7
H28. 4. 19	野菜づくりの基本を学んでみませんか 第2回(土づくり) 39
H28. 4. 24	立町付近 草刈り 3,000㎡ 5
H28. 5. 8	キドコ/立町付近 野焼 3,000㎡ 7
H28. 5. 10	野菜づくりの基本を学んでみませんか 第3回(苗の植え方/植え時/殺菌・殺虫) 36
H28. 5. 22	青谷池水系耕作放棄地及び水路の草刈り 8
H28. 5. 24	野菜づくりの基本を学んでみませんか 第4回(収穫までの管理) 39
H28. 5. 27	光南台地区鳥獣被害対策協議会第3回定時総会 開催 23 H28年度区づくり事業実施説明/米崎地区区づくり事業参加申込
H28. 5. 31	米崎地区区づくり事業実施打ち合わせ 3
H28. 6. 14	野菜づくりの基本を学んでみませんか 第5回(収穫までの管理) 37
H28. 7. 5	野菜づくりの基本を学んでみませんか 第6回(収穫までの管理) 31
H28. 7. 6	キドコ/立町付近/籠山地区除草剤散布 3,000㎡ 2
H28. 7. 21	イノシシの檻3基設置準備 3
H28. 7. 24	イノシシの檻3基設置 20

H28. 7. 29	キドコ地区耕作放棄地草刈り 1,000㎡	4	孝
H28. 4~10	ウメ/オリーブ果樹園の草刈り及び水やり	10	
	病虫害の予防(昨年度植樹分)		
H28. 10~2	宮浦地区青谷池水系耕作放棄地草刈り作業後の 植樹準備(元肥、堆肥、苦土石灰、殺虫剤投入) 防護柵搬入	7	
H28. 10~11	宮浦地区青谷池水系耕作放棄地草刈り後、梅・オリーブ植樹予定地 の除草剤散布	6	
H28. 10~2	米崎地区大谷付近耕作放棄地草刈り作業	6	
H28. 10~1	宮浦地区の梅・オリーブ植樹予定地への溝上げ穴掘り及び資材運 搬投入・苗木の防御柵設置	7	
H28. 10. 28	キドコ地区耕作放棄地草刈り 1,000㎡	4	孝
H28. 11. 15/22	果樹園水路づくり	4	
H28. 12. ~2	米崎地区のレモン植樹予定地への溝上げ穴掘り及び資材運搬投 入・苗木の防御柵設置	6	
H29. 3. 19	宮浦地区の梅・オリーブ植樹予定地へ植樹作業	2	
H29. 3. 19	宮浦地区長谷池水系耕作放棄地草刈り	7	
H29. 3. 23	米崎地区の梅・オリーブ植樹予定地へ植樹作業	4	
年代別参加者	区づくり事業完了	延べ	332人
20~59 歳迄	男性 18人	女性	33人
60~69 歳迄	男性 154人	女性	51人
70~79 歳迄	男性 56人	女性	20人
	合計 228人	104人	(合計332人)